

# リスク

東海労働組合新幹線関西地方本部  
名古屋車両所分会  
2009年11月2日 第1号

## 本当に、JR東海には「リニア」が必要なのですか？

毎日、額に汗して奮闘されている職場のみなさん！大変ご苦労様です。

テレビや新聞等の記者会見で松本JR東海社長は「リニア中央新幹線構想」について、「在来東海道新幹線の輸送力の限界」、「老朽化、東海地震に対するバイパス路線」、「大幅な時間短縮」などを謳い文句に、「リニア中央新幹線の着工時期が2015年より早まると思う」とか「3ルートで最短距離の直線のCルートが最適」、「自然環境に優しいエコ対策」などと、JR東海の三大プロジェクトとしての名古屋駅ツインタワービル建設と品川新駅建設、そして最後の「リニア中央新幹線」建設の必要性を訴えています。さらにJR東海ユニオン本部は、松本JR東海社長の「リニア中央新幹線建設」の発言を美辞麗句を並べたて諸手を挙げて支援しています。

### 私たちは、リニアには否定でも、反対でもない！

### しかし、問題の多いJR東海の「リニア中央新幹線構想」には反対だ！！

私たちはリニアを否定している訳でも、反対している訳でもありません。しかし、多くの問題が発生しているJR東海の「リニア中央新幹線建設」には反対です。果たして、松本JR東海社長が言うように「東海道新幹線の輸送力は限界」、リニアが「最適な交通手段」なのでしょうか？

JR東海の「リニア中央新幹線構想」については、①リニア建設費用の問題、②安全性の問題、③自然環境への問題、④地域住民との問題、⑤老朽化した東海道新幹線改修費用の問題、⑥公共的使命を負ったリニアの将来展望などと、多くの問題が山積みされて解決させていません。

失敗は絶対に許されない「リニア中央新幹線建設」であり、一度工事が着工され本格化してしまえば、着工した以上は絶対にミスは許されない、最後まで遣り遂げなければJR東海の会社の存続はおろか、社員の生活をも左右する事態が発生する大変な問題なのです。

私たちは、JR東海を政治家などのに食い物にされた第二の国鉄のようにさせないためにも国鉄改革で苦闘して得た貴重な教訓をもとに、多くの問題をはらんだ「リニア反対」の声を今後も明らかにします。

### 狭い日本、そんなに急いで何処に行く！